

一般質問通告順序表

No.1 (平成 30 年 6 月 14 日)

番号	質問者	質問の相手	質問の要旨
1	東 育 代	市長 教育長	<p>1. 川内原発について (1) 安定ヨウ素剤の事前配布について伺う。 (2) 住民の安全確保に関する協定書について伺う。</p> <p>2. 地域創生エネルギービジョンについて 再生可能エネルギー導入促進に向けた取り組みについて伺う。</p> <p>3. 不登校対策について (1) 長期欠席の現状と推移について伺う。 (2) 初期対応が重要と思うが支援体制について伺う。 (3) 中学校卒業後の追跡について伺う。 (4) 不登校ゼロに向けた取り組みについて伺う。</p> <p>4. いじめ防止基本方針について (1) いじめ問題対策委員会の設置について伺う。 (2) いじめ調査委員会の設置について伺う。 (3) 教職員の研修等について伺う。</p>
2	中里 純人	市長 教育長	<p>1. 食品ロスの削減について (1) 食品ロスの現状をどう認識しているのか伺う。 (2) 本市の家庭系ごみの食べ残しの排出について、課題と取り組みについて伺う。 (3) 3010 (さんまるいちまる) 運動について伺う。</p> <p>2. 戦後 73 年目の取り組みについて (1) 平成 27 年 3 月議会「戦後 70 年に向けて」の質問で「戦争を風化させない手立てとして貴重な体験や資料を収集し、子どもたちや市民に対し平和の尊さを考える資料として活用していただく」との答弁であったが、その後、どのように取り組んでいるのか。 (2) 長崎原爆のきのこ雲の背後に串木野地域の空襲による黒煙が上がっている写真が公表された。これらの貴重な資料等を残す必要があるのではないか。 (3) ミニミニ原爆展の開催と中学生への平和学習についての取り組みはどうか伺う。</p> <p>3. 甕島フェリーについて 「川内港長期構想検討委員会」において、薩摩川内市長より「甕島航路のフェリーの本土側発着を串木野新港から将来的には川内港に移すのが望ましい」との発言があった。田畑市長とどのような協議がなされたのか見解を伺う。</p>

3	中村 敏彦	市長	<p>1. 地域公共交通網策定事業について</p> <p>(1) 地域公共交通網形成計画策定事業が予算化されたが、本市・地域交通の現状認識について伺い、あわせて策定事業の進捗状況はいかがか。</p> <p>(2) 国土交通省は鉄道や船、路線バス、コミュニティ交通（いきいきバス）、デマンド交通の有機的なネットワーク策定を求めているが、基本的な構想は検討されているか。</p> <p>(3) 交通網形成計画の中で空港バスの運行再開は検討できないか。</p> <p>2. 公園等の整備計画について</p> <p>(1) 昨年度から始まった計画期間 10 ヶ年の第 2 次総合計画では、58 ヶ所の公園について「適正な整備を図る」としているが、具体的計画とスケジュールはどのようか。</p> <p>(2) 長崎鼻公園（海浜児童館を含む）の整備・充実はできないか。</p> <p>3. 介護保険制度について</p> <p>(1) 昨年までの第 6 期介護保険事業計画において、要支援 1・2 へのサービスが自治体の介護予防・日常生活支援事業に一部移管され、保険給付事業から外されたが、利用者や事業者の声は把握されているか。</p> <p>(2) 平成 26 年度に比べて 28 年度は認定者数が 100 人近く減少しているが、その理由について伺う。</p> <p>(3) 今年度スタートの第 7 期介護保険事業計画における介護保険料については、基金繰入で据え置き（5,992 円/月額）とのことであるが、介護サービスに特段の変化はないか。</p>
4	松崎 幹夫	市長 教育長	<p>1. 公園の遊具整備について</p> <p>(1) 市内には遊具が多く設置してある公園が少なく、今ある遊具の老朽化も目立つ。子どもを遊ばせるために隣接市にまで行く方もいる。遊具の整備を充実できないか。</p> <p>(2) 子育てや移住定住の観点からも公園整備は重要と考える。早急に取り組んでもおかしくないかと考えるが如何か。</p> <p>2. 通学路の安全対策及び小中学生の安全確保について</p> <p>(1) 全国各地で小中学生が巻き込まれる事件や事故が多く発生している。ガードレールの整備のほか、防犯カメラが必要な箇所もあるのではないか。</p> <p>(2) 本市の小中学校で、これまで不審者からの嫌がらせなどの被害にあったり、見かけたりする事例はなかったのか。あったとすれば、どのような対処をしたのか伺う。</p> <p>3. 市道の整備について</p> <p>市道で白線が消えている箇所が多くみられる。事故が起きる前に対策を講じるべきではないか。特に、小中学生の通学路は早急に対処すべきと考えるが如何か。</p> <p>4. 農家民泊について</p> <p>(1) 本年度、農家民泊の予算が計上されているが、事業の進捗、今後の展開はどうなっていくのか。</p> <p>(2) グリーンツーリズムの取り組みも年々実績が出ているが、この取り組みとの連携については、どのように考えているか。</p> <p>(3) 農家民泊については、情報発信力が重要であると思うが、対応はどのようにしていく考えか。</p>
5	江口 祥子	市長 教育長	<p>1. ロタウイルスの予防について</p> <p>(1) ロタウイルスの概要と予防策及び本市の現状を伺う。</p> <p>(2) ロタウイルス予防接種助成について見解を伺う。</p> <p>2. 飼い主のいない猫等の対策について</p> <p>(1) 動物愛護教育の充実と啓発活動の現状及び強化策について伺う。</p> <p>(2) 地域猫活動を推進する考えはないか伺う。</p> <p>(3) 猫の避妊・去勢手術への助成について伺う。</p>

一般質問通告順序表

No.2 (平成 30 年 6 月 15 日)

番号	質問者	質問の相手	質問の要旨
1	西別府 治	市長 教育長	<p>1. 地理情報システム(G I S)の導入について</p> <p>(1) 国が進める地理空間情報活用推進基本法における本市の取組について伺う。</p> <p>(2) 地理空間情報を活用した取組はできないか伺う。</p> <p>(3) 災害対策や人口減少、地域活性化への施策推進に向けた活用について伺う。</p> <p>(4) 低コストで使える「Web GIS」の導入について伺う。</p> <p>2. 英語のまち推進事業について</p> <p>(1) 小学校における英語授業(教科化・時間増)の現状について伺う。</p> <p>(2) 小中学生の英語力向上の対策について伺う。</p> <p>(3) 「TOEFL Primary」受験補助について伺う。</p> <p>(4) 今後の「英語のまち推進事業」の取組について伺う。</p>
2	大六野 一美	市長 教育長	<p>1. 持続可能な市政運営をするために</p> <p>市債残高はこのまま推移して良いのか。少なくとも少子高齢化で人口減少が急速に進み、1人当たりの市債残高は増える傾向にある。</p> <p>(1) 行財政改革の中で、統廃合すべき案件や民間に委託すべき案件はスピード感をもって進めるべきであるが如何か。</p> <p>(2) 最終処分場や学校給食センターの追加工事費、変更理由について伺う。</p> <p>(3) 市来エネルギーセンターを1億円以上かけて取り壊す必要があるのか。</p> <p>(4) 扶助費が毎年増える一方である。東京都も生活保護費の見直しを始めるとの新聞報道があった。支給額よりも支給基準に問題があるのではと感じる。国民年金受給者より額が多い事もいかなものだろうか。</p> <p>(5) 児童扶養手当などの補助制度のあり方について伺う。</p> <p>2. 本市独自の教育方針を問う</p> <p>(1) 国や県の下達だけでなく、独特な地域の方針もあって良いと思うが如何か。</p> <p>(2) 点取り教育より生き抜く教育を重視すべきと考える。もちろん家庭教育や社会教育と連携しなければいけないことは承知しているが。</p>
3	竹之内 勉	市長	<p>1. 甕島航路の存続について</p> <p>(1) 航路の歴史、高速船移籍協議の経緯を踏まえ、「川内港長期構想検討委員会」での薩摩川内市長の発言をどう考えるか。</p> <p>(2) 今後の取組みについて伺う。</p> <p>2. ㈱いちき串木野電力について</p> <p>(1) 加入状況及び生活支援サービスの進捗状況と今後の取組みについて伺う。</p> <p>(2) 家庭の太陽光「19年問題」をどうとらえるか。</p> <p>3. 消防庁舎について</p> <p>(1) 今後の管理方針はどのように考えるか。</p> <p>(2) 将来を見据えて建設計画を練るべきではないか。</p>

4	吉留良三市	市長	<p>1. 本市の財政状況について</p> <p>(1) 扶助費の増加が今後も見込まれるが、どのような対応を考えているか伺う。</p> <p>(2) 本市の市債残高は 221 億円とあるが、臨時財政対策債の占める割合及びその他現状・推移をどのように捉えているか伺う。</p> <p>(3) 本市の基金は、どのような位置づけの基金がどの程度あるか伺う。</p> <p>(4) 6 月の骨太方針 2018 に、本市の厳しい現状を反映するよう引き続き地方六団体などでの奮闘を期待するが、決意のほどを伺う。</p> <p>(5) 今後の行政需要と人員配置についてどのように考えるか伺う。</p> <p>2. 会計年度任用職員制度の導入について</p> <p>(1) 臨時・非常勤職員の人数や任用根拠、業務内容などの実態調査を総務省が求め、調査された現状はどうだったか明らかにされたい。また、その結果は職員団体と当然共有されると思うが、いかがか伺う。</p> <p>(2) 2020 年 4 月からの「会計年度任用職員制度」の発足に向け、関係者との協議や条例化のタイミングを含め具体的なスケジュールは組んでいるのか。また、それにあたっては関係者との交渉や協議の時間を十分に勘案しているのか伺う。</p> <p>(3) 今回、フルタイムの非常勤職員の任用が明確化されている。今後の臨時・非常勤職員の任用にあたっては、勤務実態・職務内容に応じ、より積極的にフルタイムでの任用とすべきだと思えるが見解を伺う。</p> <p>3. 現行制度での臨時・非常勤職員の処遇等の改善について</p> <p>(1) 現在、臨時・非常勤等職員の任用回数や年数に上限が設定されているが、その理由を伺う。これは平等取り扱いの原則に反するのですみやかに廃止すべきと思うが見解を伺う。</p> <p>(2) 勤務条件の明示が的確に行われているのか。また、書面で示すべき事項を書面で示しているのか伺う。</p> <p>(3) 通勤費は当然支払われるべき費用と考えるが、正規職員と同様に支払っているのか伺う。</p>
---	-------	----	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------